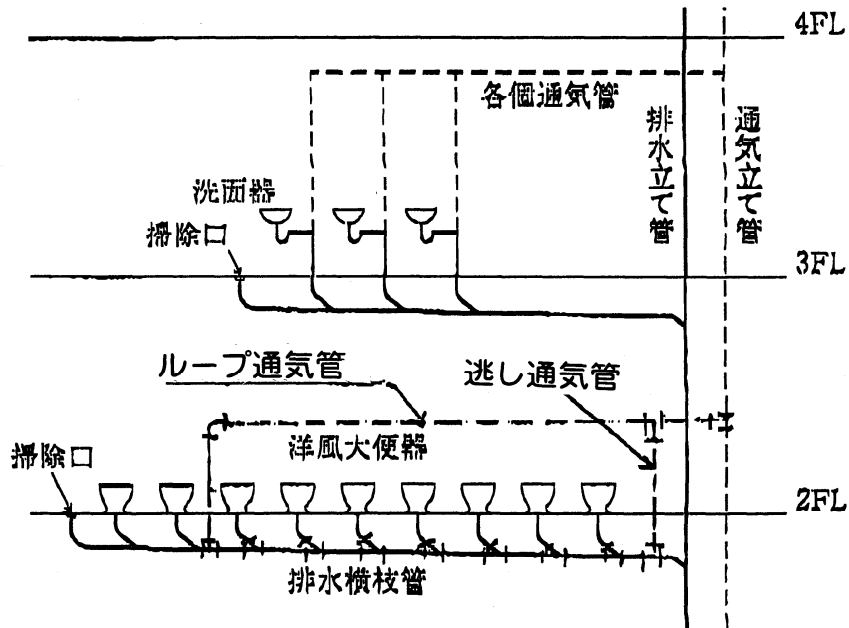




平成25年度 1級管工事施工管理技士試験 〔実地試験〕 解答試案

【No. 1】

〔設問 1〕 排水・通気設備図



〔設問 2〕

(2) 冷温水コイルまわりの配管要領

正・誤	改善策
×	冷温水の行きと還りの流れの方向を逆にする。

(3) 厨房系排気ダクトの施工要領

正・誤	改善策
×	温度ヒューズの溶融温度を120℃とすること。72℃は一般系である。

(4) 温水配管の系統図

正・誤	改善策
×	膨張管は給湯管側に接続する。

(5) 床上式タンクにおける揚水ポンプまわりの施工要領

正・誤	改善策
×	吐出側配管の防振継手の後にCV、GVの順に設ける。

【No. 2】 冷温水管を施工する場合の留意事項

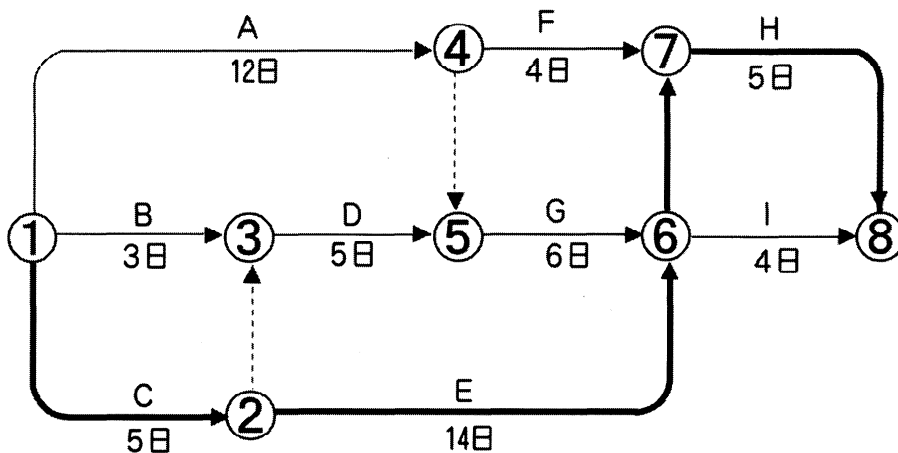
	留意事項
1	熱による配管の伸縮を考慮し、伸縮継手かスイベル継手を挿入する。
2	冷温水の熱膨張に対する逃しを考慮する。
3	管内には空気だまりができないように配管する。
4	主管の曲部は、原則としてベンド管を使用する。

【No. 3】 設問による留意事項

	留意事項
1	ポンプは汚物流入口から離れた位置に設置する。
2	ケーブルは汚水槽内での接続は行ってはならない。
3	汚水槽には直径60cm以上の保守点検用の防臭蓋を設ける。
4	ポンプケーシングの外側および底部は、ピットの壁および底面よりそれぞれ200mm程度の間隔をとる。

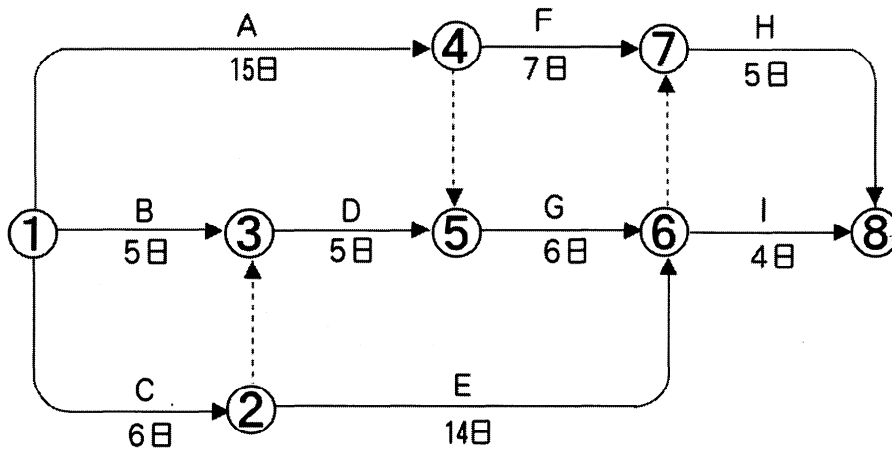
【No. 4】

〔設問 1〕



クリティカルパス C-E-H (5 + 14 + 5 = 24日)

〔設問 2〕



単純に遅れの日数を加算を加えて求めると、

- A-F-H (15+7+5=27日) △
- A-G-H (15+6+5=26日) △
- A-G-I (15+6+4=25日) △
- B-D-G-I (5+5+6+4=20日)
- B-D-G-H (5+5+6+5=21日)
- C-D-G-H (6+5+6+5=22日)
- C-D-G-I (6+5+6+4=21日)
- C-E-H (6+14+5=25日) △
- C-E-I (6+14+4=24日)

I 期は 3 日延長となる。

〔設問 3〕

A-G-I

〔設問 4〕

〔設問 2〕より工期 24 日に短縮するルートは

- △ A-F-H (27日) △ A-G-I (25日)
- △ A-G-H (26日) △ C-E-H (25日)

〔設問 5〕

- F = 7 × 0.3 = 2.1 (2日短縮する)
- H = 5 × 0.3 = 1.5 (1日短縮する)
- G = 6 × 0.3 = 1.8 (1日短縮する)

【No. 5】

〔設問 1〕

- (1) A 特別の教育
- (2) B 3
- (3) C 石綿作業主任者
- (4) D 2

〔設問 2〕

1	統括安全衛生責任者
2	元方安全衛生管理者

【No. 6】 …… 経験記述につき省略

〔設問 2〕 工程管理

〔設問 3〕 材料・機器の現場受入検査

〔解答と解説〕 高田 實（技術検定研修協会専任講師／タカダ総合資格コンサルタント）



技術検定研修協会

仙台市青葉区二日町13-22 カルコス仙台ビル306

■TEL.022(346)6251

■FAX.022(266)0868